

■ 代表幹事式辞 ■

代表幹事 麦野 英順

代表幹事の麦野でございます。

本日は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いている中ではありますが、富山経済同友会の創立60周年記念式典を、このように開催できますことを大変嬉しく思いますとともに、お忙しい中にも関わらず、新田富山県知事、藤井富山市長、金沢経済同友会の福光代表幹事をはじめ、ご来賓の皆様方には、ご臨席を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

富山経済同友会は、1961年4月27日、県内107名の経済人によって設立されて以来、諸先輩方のご尽力と富山県をはじめとした関係各位のご支援により、本日、創立60周年を迎えました。設立当時は急速な経済成長期であり、その頃の課題として、東京との地域格差是正、テンポの早い技術革新、輸送力の増強、エネルギー確保、新港建設などがあったため、富山県の経済人が共同して研究や提言を行うことを目的に設立されました。その後、当会は順調に成長を重ねまして、現在では420名の経済人により構成されている次第であります。

この60年間で世の中が大きく変わる中、当会は行動指針である「創造する経済人 行動する同友会」のもと、地域の活性化や教育、環境、企業経営などの諸課題について90を超える提言を行ってまいりました。また、会員が小・中・高校生に、働くことや学ぶことの意義を教える課外授業講師派遣活動を、2001年度より20年にわたり継続しております。

前回の50周年記念式典からの10年間、富山県においても様々なことがありましたが、特に、悲願であった北陸新幹線の開業は、我々に大きな変化をもたらしました。60年前には9時間40分、10年前には3時間10分もかかっていた富山と東京が2時間余りで結ばれたことにより、ビジネス客や観光客などの交流人口が増加するだけでなく、富山県への本社機能移転や拡充などの経済波及効果があったことはご承知の通りであります。今後は、この効果を発展させるために、2023年度末までの敦賀開業、そして、一日も早い大阪延伸を実現させなければなりません。北陸新幹線の全線開通は経済効果のみならず、大災害時における東海道のバイパス機能や、国土の強靱化にも大きく寄与するものであります。

また、昨年より世界中に広がっている新型コロナウイルス感染症も、人々の価値観や生活スタイルを大きく変化させ、消費者ニーズや企業の経営課題を様変わりさせました。現在は、一日も早くワクチン接種を全国的に普及させ、感染収束が期待される所存ではありますが、同時にコロナ禍で顕在化したデジタル化の遅れや東京一極集中問題、またダイバーシティや地球温

暖化防止への取り組みの遅れなどの様々な課題を乗り越え、ビヨンドコロナに向けた対応を急がなければなりません。

現代は、物事の変動が大きく、不確実で、複雑に事象が絡み合い、解決策の見つからない、まさしくVUCAの時代と言われる状況ではありますが、そのような今こそ、当会の設立趣意書にもあるように、「進歩的経済人の機関として、現実に密着した知識と経験を駆使し、自由な立場から積極的に政策面に参加し、県の経済発展、ひいてはわが国経済に貢献する」ことが求められているものと確信しております。

さて、当会は本日、SDGs宣言をいたします。SDGsは(1)持続可能な経済成長、(2)誰一人取り残さない世界の実現、(3)気候変動対策を中心とする環境保全、という3つの課題をバランスよくかつ未来志向で達成することを目指すものであります。富山県も人口減少や高齢化問題、地球温暖化いわゆるカーボン・ニュートラルへの対応など、様々な課題を抱えているため、当会は重点課題として「持続可能な企業経営」、「持続可能な人づくり」、「持続可能な地域づくり」、そして「地域での連携・パートナーシップの確立」の4つを掲げ、持続可能な地域経済社会の発展を目指して、積極的に取り組んでまいりる所存であります。

今回、3つの委員会より提言を行っております。

地域創生委員会では、自治体と経済界が一体となって、DXを見据えたデジタル化推進による地域創生「デジタル・ワンチームとやま」の推進を提言いたしました。

人財創出委員会では、「富山県の活性化に資する高度人材の確保育成に向けた新たな協働・連携事業の推進」を提言いたしました。

また、教育問題委員会では、「子どもたちの「生きる力」を育む社会の創造」と題して、教師へのサポートやICT教育など、具体的な10項目の方策をまとめました。

いずれも、富山県全体の持続的発展のためには必要不可欠なものであり、これらの実現に向けて、引き続き積極的に貢献してまいります。

今後とも、当会は「創造する経済人 行動する同友会」として、あらゆるパートナーシップのもと、地域の活性化に貢献する提言活動を進めるとともに、すべての会員にとって有意義な各種活動を実施してまいりる所存でありますので、引き続き関係各位の変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。